

令和3年度 新潟市除雪体制等検証会議の概要

■ 検証会議の目的

- 「検証会議」は、令和3年1月の短期間に集中的降雪となった異常降雪における除雪対応について、表面化した様々な課題等に対して関係団体等から協力を得ながら**広く意見を集め相互共有するとともに、持続可能な除雪体制への改善へつなげていく**ことを目的に設置する。

■ 平成29年度の豪雪を踏まえた主な取組み

- 平成29年度も記録的な豪雪が生じたため、**検証会議でご意見を頂きながら取組みを行った。**

No.	主な取組
1	ICT（除雪車運行管理システム）の導入 （リアルタイムの除雪車の稼働状況の把握）
2	新たな雪捨て場等の確保 （運搬時間短縮による作業の効率化）
3	PRパンフレットの作成・配布・公開 （道路除雪に関する市民への周知・理解）
4	凍結防止剤散布の見直し（出動基準等）
5	市内部の除雪応援体制の確立



■ 令和2年度の豪雪における特徴

① 気象条件

- 地球温暖化により、日本海の海面水温が高くなったことから、より多くの水蒸気が大気に供給され、蓄えられた状態になった。
- そこに、「日本海寒帯気団収束帯(JPCZ)」が発生し、強い寒気が流れ込んだため、大雪となった。
- 豪雪のメカニズム（右図参照）

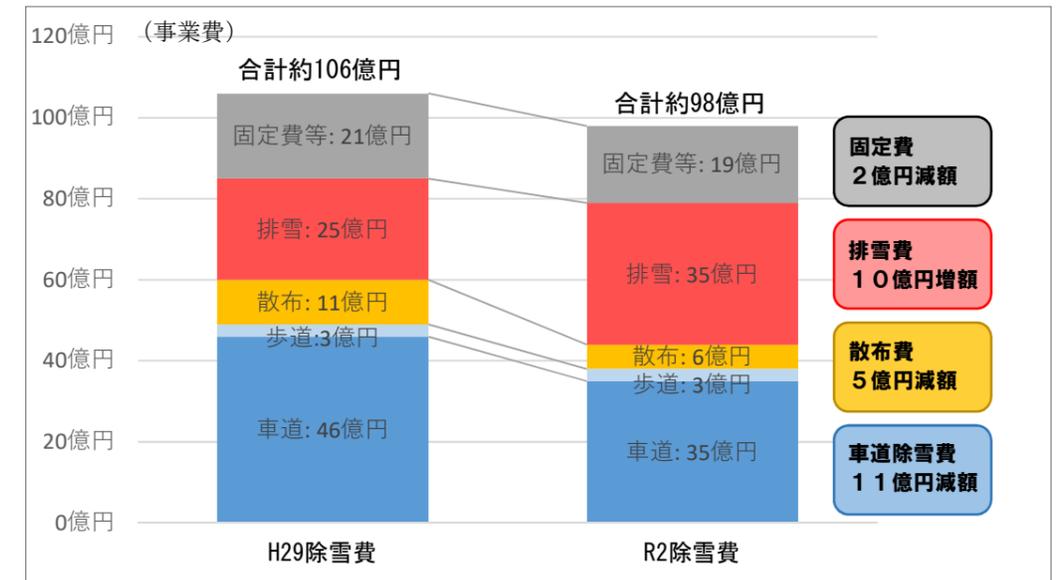


② 新潟市における降雪状況（平成29年度との比較）

年度	累計降雪量	特記事項
H29	313 cm	・大雪は、沿岸部の一部の区に集中していた。
R2	234 cm	<ul style="list-style-type: none"> ・1月上旬の10日間の平均累計降雪量が150 cmに達した。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ この10年間で最も短期間に記録された降雪量。 ➢ 平年の1年間の累計降雪量を超える異常な降雪量。 ・「かき分け除雪」を実施したが、短期間の大雪で、道路脇に雪置き場がなくなり、通行可能な幅員の確保が困難になったため、排雪を多く行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>新雪除雪 (かき分け除雪)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>排雪 雪山により交差点の見通しが悪くなったときなどに雪をトラックに積み込んで運び出す作業</p> <p>雪捨て場までトラックの往復が必要のため、新雪除雪に比べ作業に時間と費用がかかります</p> </div> </div> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">短期間の豪雪によって、雪置き場がなくなり、通行ができなくなったため、排雪を実施した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の異常降雪が、8区すべてで発生した。（区相互間の応援不可）

③ 新潟市における項目別の除雪費

- レンタル機械をリース機械に切り替える取組みや、スノーポールの通年設置等の取組みにより、**固定費については除雪費用の縮減に効果があった。**
- **記録された降雪の影響により排雪費用が多くかかった。**
- **散布費は、出動基準を見直したことにより減額となった。**
- 【参考】新潟県の除雪費：139億円(H29)から148億円(R2)に増額（9億円増）



■ 第3回検証会議での議題について

◆ 第1回検証会議 ご指摘をいただいた「新潟市の道路除雪に関する問題点」『異常降雪時の対応について、市民の理解が得られていない』

- 「広報」に関して気になる部分がある。大雪等の災害事態における「道路管理者の限界」ということをまだ広報しきれていないのではないかと。
- 地球温暖化の影響により、昭和の時代のような大雪が、何年かに1度降る可能性があるということを広報できていない。今の財政状況で、完璧な除雪対応は無理だということを、市民に理解いただく必要がある。
- 市民に「外出を控える」という認識をどれだけ伝えられるかが重要。災害級の異常降雪のなか、学校や企業に休むように協力を呼び掛けてはどうか。

◆ 第2回検証会議

- 第1回検証会議でご指摘をいただいた問題点と対応案を反映した「方針案」に対して、意見照会をさせて頂いた。

◆ 第3回検証会議

- 「第2回検証会議の振り返り」と併せて、「令和3年度除雪体制見直しの取組み」と「令和3年度新潟市除雪実施体制」を報告する。
- これまでの議論を踏まえ、11月11日に「新潟市への提言書(中間とりまとめ)」をご提出いただきたいと考えているので、その内容について、意見交換をしていただきたい。

「令和2年度の豪雪等を踏まえた新潟市の除雪体制見直し（案）」に対する主な意見と市の考え方

1 除雪実施体制

項目	意見照会結果	主な意見	市の考え方	
改善方針（案）	同意する：4件 意見あり：5件	① 除雪作業の効率化 (1) 担当路線の見直しに際し、 <u>路線延長の増加を依頼された場合、対応できない事も考慮していただきたい。</u>	○ ① (1)：了承しました。 ○ ② (1)：検討しています。 ○ ② (2)：担当路線で雪の仮置き場の確保に努めます。 ○ ② (3)：本市の所有機械において、ロータリー除雪車の増台を検討しています。	
		② 除排雪作業の効率化 (1) 雪の仮置き場について、公園などが利用できると効率化が向上できると思うが <u>雪の搬出入口の確保や仮置き期間中の管理体制</u> をお願いしたい。 (2) 車道区分第2・3種エリアでも市民からの協力で、 <u>担当路線で雪の仮置き場確保</u> をお願いしたい。 (3) 排雪について、バックホウでは積込時間がかかり、限りあるDTの積込待機時間が長くなり、ショベルローダーは積込場所に制約を受けるため、 <u>ロータリー除雪車の増台と運転を確保することが有効</u> と考える。		
		③ 異常降雪時の除排雪方法の項目のうち、 <u>主要交差点の排雪</u> とあるが、交差点は除雪面積が大きく幅員が狭くなる傾向にあるように感じるので除雪方法について検討願いたい。 <u>特に渋滞の原因となる右折車線の確保に努めてもらいたい。</u>		○ ④：主要交差点や右折車線の確保が渋滞解消に寄与することから、 <u>排雪作業実施基準を作成し、対応すること</u> としています。
		④ 右折車の滞留や駐車場への入り込みなど渋滞原因は多くあると思うが検証等の結果はあるのでしょうか。		
		⑤ 「必ず運行する路線」の見直しについて、除雪が間に合わないという前提において、路線数を更に限定する見直し（※）には賛意を表します。（弊社としても危険を冒して運行するよりは安全運行上それが望ましい）		○ ⑥：「今冬の異常降雪を踏まえたバス交通の確保に関する担当者会議」で協議をしている内容になりますので、そちらの会議で協議します。
		⑥ 見直し後の「必ず運行する路線」の除雪レベルについては、 <u>道路の外側線(サイドライン)が見えるまでの除排雪を希望</u> します。 ※路線の見直しについては、R2年の除雪の実績を基準にするのではなく、バスの利用形態等を勘案し、事業者の意見を十分に汲み取り頂くようお願いいたします。		
		⑦ 「異常降雪」との文言がありますが、地球温暖化の影響で、毎年平均値を参考にしても、対応が難しいことが課題です。よって、 <u>「異常降雪」という文言に変わる「想定降雪を超える事態」といった文言に変える必要</u> があります。		
今後の取組み（案）	同意する：5件 意見あり：4件	⑧ <u>基準に沿った除排雪の取組み</u> について地域住民に対しても公表を行ったほうが良いと思う。	○ 除雪基準は公表済。排雪基準は公表予定。	
		⑨ 確実に認識してもらいたい人に <u>伝達する方法を工夫</u> すべき。 (1) 例えば、社用車、自家用車ユーザーにはGSの給油時に渡すなど。 (2) 11月に入ったら早めのタイヤ交換を促すとともに、異常降雪時には運転自粛を呼びかけるパンフを配布するなど。 (3) また、排雪作業実施基準や排雪作業を実施する路線と市内路線・個所の存在を知らしめ、同時にHP上にも掲載する。	○ (1)(2)：「2除雪広報①②③」で回答。 ○ (3)：継続して検討していきます。	
		⑩ これまで通り、 <u>バス路線については「必ず運行する路線」以外についても、一段階上の基準に設定</u> していただき、除雪・排雪の優先順位の引き上げを継続していただきたい。	○ 「今冬の異常降雪を踏まえたバス交通の確保に関する担当者会議」で協議をしている内容になりますので、そちらの会議で協議します。	
		⑪ 先に述べたとおり、「異常降雪」ではなく「除雪のための想定を超えた降雪」があった場合とする。その状況を <u>警報レベル</u> で表す。警報レベルによっては、 <u>市民サービス</u> （例えば、ゴミ収集） <u>公共交通機関</u> （バス等）の <u>計画的停止</u> についても視野に入れる。 <u>市民や企業・組織に期待される協力も整理</u> する。これらについて、 <u>市の責任者からの直接広報</u> を含む多様な形態の広報について務める。	○ 「2除雪広報①②④」で回答。	

2 除雪広報

項目	詳細	意見照会結果	主なご意見	市の考え方
改善方針（案）	(1) (新たな情報発信内容の追加) 異常降雪時は、「災害が起きている」「外出を控える」というコンセンサスを得ることができるような広報を行う。	同意する：3件 意見あり：6件	<p>① 異常降雪時の市民周知の取組みとして、③大雪は災害であることを事前周知し、目安となる<u>警報レベル等の指標設定</u>の周知方法として、ラジオやテレビ等のメディアを使い周知する。</p> <p>② これまでも繰り返されて来たことであるが、数年に一度の大雪の際も休校の判断は各学校に委ねられており、定時に登校しようとする生徒が多く発生する。公共交通で登校すれば良いが、遅刻のリスクを回避するため、家人（親・祖父母等）の自家用車に頼ることにより、更なる渋滞を増長させている。市立はもちろんのこと、県立の学校についても教育委員会の強い指示により<u>休校や始業を遅らせる措置を積極的に行わせるべき。</u></p> <p>③ 「除雪は行政が当たり前に行うもの」という認識から、「災害時は除雪が間に合わないため、外出を控えて、身を守る」と市民の意識を変えさせることについては全面的に同意します。</p> <p>④ その際の、<u>休校・休業要請</u>については、出来れば「お願い」というレベルではなく、災害レベルということであれば、ある程度強制力を持つことが望ましいと思います。</p> <p>⑤ 広報に関しては、除雪の想定資源を超える事態の発生が予測される場合は「<u>除雪警報</u>」等のわかりやすい指標をもうけ、市民や企業・組織に期待される行動についても、同時に示してはどうか。平時の啓発についても動画を用い、<u>YouTube</u>や<u>Twitter</u>等を活用する等の多様なメディアからの発信が重要である。</p> <p>⑥ 行動変容を促す件について (1) 異常降雪予報が出た段階で、マスコミ（TV、ラジオ）に早めの準備（食料品や灯油の購入、冬用タイヤへの交換）の呼びかけを依頼し、<u>異常降雪時の外出を極力減らすよう促す。</u> (2) また、<u>降雪時に外出した時に自らに降りかかるリスク</u>を周知する。 ・ 例 <u>渋滞</u>に巻き込まれる（最悪の場合吹き溜まり渋滞に一晚以上巻き込まれることも） ・ JRが運休した場合、バス通勤や自家用車で出勤すると、平時よりも多い車両が狭い車線に集中して大渋滞。<u>スリップ等により交通事故のリスクも高まる。</u>等</p> <p>⑦ 広報方針案に同意します。特に災害級の状態の広報について。ただ、例えば、<u>ホームページ等における除雪状況、道路の確保、鉄道等の雪害に関する情報の入口が一カ所</u>で、その次に各窓口の閲覧ができるような情報提供の在り方があったら良いと思う。</p>	<p>○ 大雪時の指標レベルの作成について、関係機関を集めた協議を開始。今冬から試行し、R4運用に向け取り組みを進めています。<u>指標レベルができれば日本初の試みとなる予定</u>です。</p> <p>○ 教育委員会と協議を行い、市立の小、中、高、幼稚園に対して、<u>休校要請の仕組みを構築</u>済。</p> <p>○ 「<u>にいがた「ゆきみち」ガイド</u>」を学校で配布し、市の除雪体制の理解につなげるための対応を行う予定です。</p> <p>○ 「<u>休校要請</u>」は、「2除雪広報②」に記載のとおり、仕組みを構築しています。</p> <p>○ 「<u>休業要請</u>」は、<u>テレワークの推進</u>を図っていきたいと思います。</p> <p>○ <u>YouTube</u>や<u>LINE</u>等のSNSを使用した<u>新たな発信</u>をします。</p> <p>○ (1):「<u>出控え</u>」については、リーフレットを作成し、周知する予定です。</p> <p>○ (2):「<u>自らに降りかかるリスク</u>」等についてもリーフレットに掲載しました。</p> <p>○ 「<u>にいがた「ゆきみち」ガイド</u>」に大雪時に必要な情報のQRコードを取りまとめて掲載しています。</p> <p>○ 新潟市のHPに関連HPのリンクを取りまとめる等の対応を検討します。</p>
	(2) 稼働状況の更なる見える化	同意する：6件 意見あり：3件	<p>⑧ 情報公開により、通行できる道路が把握されやすいという利点がある反面、<u>市民から更なる苦情・要望の増加が懸念</u>される。（なぜ、自分たちのエリアに除雪がこないのかなど） ※特に車道区分第2・3種エリア</p> <p>⑨ この情報を誰がどのように利用するのか根本を考えるべき。 (1) 例えば、それとも本日中に除雪が進み翌日は通行しやすくなると伝えるのか。<u>発信する際の姿勢が大切</u>。除雪が遅れてご迷惑をおかけして申し訳ないという姿勢ではなく、除雪車の後ろは渋滞になる可能性が高いので回避してとか、<u>除雪完了の路線を活用してという姿勢で自宅付近の除雪が遅々として来ないことへのクレームの基にしないようにしたほうが良い</u>と思います。</p> <p>⑩ 稼働状況については、量を示すことも重要であるが、除雪の様子をカメラで見せる、「笑顔、普通の顔、困った顔のイラスト」で見せるなど、<u>可視化方法</u>についても検討が必要。</p>	<p>○ 慎重に検討します。</p> <p>○ 慎重に検討します。</p> <p>○ 可視化の方法について、今後検討していきます。</p>

項目	詳細	意見照会結果	主なご意見	市の考え方
改善方針（案）	(3) 「パンフレットの存在の周知」「より効果的且つ繰り返し発信する広報の実施」	同意する：5件 意見あり：4件	<p>⑪ より効果的な情報発信の取組みとして、にいがた「ゆきみち」ガイド（参考資料2）のお願いをテレビCMで行い、市民への周知、理解を深める。</p> <p>⑫ 平時における啓発については、2①に既述したように平時の啓発についても動画を用い、YouTubeやTwitter等を活用する等の多様なメディアからの発信が重要である。また、人が集まる場所、公共機関等の待合室、ショッピングセンター等にスマホ等でもアクセス可能な二次元コード付きのポスターを掲示することはどうか。また、雪の季節前に周知の集中キャンペーンを行ってはどうか。</p> <p>⑬ 確実に認識してもらいたい人に伝達する方法を工夫すべき。例えば、社用車、自家用車ユーザーにはGSの給油時に渡すなど。 (1) 11月に入ったら早めのタイヤ交換を促すとともに、異常降雪時には運転自粛を呼びかけるパンフを配布するなど。また、併せて排雪作業実施基準や排雪作業を実施する路線と市内路線・個所の存在を知らしめ、同時にHP上にも掲載する。 (2) 一般市民向けには、事前にタイムシフトできるものは調整することを促す。例えば 食料品、灯油の購入 通院予定の前倒しなど異常降雪が予想された時だけに特別に呼びかける事例を示すと理解が高まるのではないかと。</p> <p>⑭ 市として（市長からの呼びかけなど）非常事態であることの周知、外出の自粛、自家用車の使用制限などをマスコミ（テレビ・ラジオなど）を通じて広報いただくと共に、バスは「必ず運行する路線」で運行している旨の市民に向けた情報発信を同時に実施していただくなどの取り組みを積極的に進めてほしい。</p>	<p>○ R3年度に以下の広報を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 新潟市の広報番組等での啓発 2) YouTubeやLINE等のSNSを使用した新たな発信 3) アルビレックス新潟と連携を行い、ビッグスワンでのイベントを開催（除雪機械展示、体験乗車等） 4) イオン東でイベント開催(12/5 予定) 5) 除雪出動式(11/29 予定) <p>○ 「二次元コード付きのポスター」等を下記店頭に掲示して頂くよう、調整しました。（下記は10月末時点の協力店舗数）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 市内各スーパー：96店舗 2) ガソリンスタンド：230店舗 3) 郵便局：116店舗 4) 新潟交通（バス車内）：500台 5) 上記の他、昨年度と同様に、図書館等の市関連施設 <p>○ 今年度からYouTubeやLINE等のSNSを使用した新たな発信をします。</p> <p>○ 「2除雪広報⑪⑫」参照</p> <p>○ 「外出の自粛」等について、リーフレットを作成し、周知する予定。</p>
今後の取組み（案）		同意する：4件 意見あり：5件	<p>⑮ 新潟市の除雪計画の中で、自宅のある自治会付近の車道がどの区分なのか？基準、優先順位は？何処を除雪してもらえるのか？（市道と私道の区分）など具体的な地区の除雪路線図などがあると市民に協力を求めやすいのではないかと。</p> <p>⑯ 休校やテレワークの推進は良いことと思う。水害同様に災害のレベルをあらかじめ決め、例えば最高の「レベル4」となった場合は、各連絡を行わずともあらかじめ休校とすることやエッセンシャルワーカー以外は休業、時短、時差出勤をあらかじめ決めておくなどのことが将来目標としてあって良いと思う。あくまで災害級の場合であります。</p> <p>⑰ 市民に外出を控えさせる警報レベルについては、「積雪●●cm」という分かりにくい指標ではなく、「〇〇警報が発出された時」など、全ての人に分かりやすいものであるべきだと思います。その意味では、新たに新潟市で独自の基準（それが発出されたら、学校は休校、企業や商店は休業）を作ってもよいのではないのでしょうか。</p> <p>⑱ リーフレットに記載の除排雪の基準の決め方など市民が理解しづらいと思います。</p>	<p>○ 除雪路線図を公表して協力を求めています。ただし、優先順位等は掲載していません。</p> <p>○ 「2除雪広報①②④」参照</p> <p>○ 「2除雪広報①②④」参照</p> <p>○ 除排雪基準のリーフレットの掲載を取りやめました。</p>